

2011 年

1 月 4 日（火曜日） - 平成 23 年の新春に「温故創新」 -

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成 23 年の新春を健やかにお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年をふり返りますと、市民の皆様には市勢の充実・発展にご尽力を賜り、心から感謝を申し上げます。本市としても、一昨年に引き続き、産業・雇用・生活を総力をあげて支援し、人とまちの元気と未来開拓を推進するための各種事業の執行に全力を尽くしてきました。そんな中、本市全域が世界ジオパークへの認定、市内最大規模の森本工業団地の竣工、光ファイバーネットワーク・ケーブルテレビの本格開設、製茶工場や猪鹿生肉処理施設の稼働、網野浄化センターの竣工、竹野小と間人小の統合、宇川保育所の発足、学校再編の計画づくりなど、社会・産業の基盤も少しずつ整いつつあります。

一方で、合併後初の国保税の引上げなど御負担をお願いするとともに、素晴らしく思いますのは、各分野で NPO や市民団体の皆様の活動がますます広がり、域内外との交流や地域の宝に光りをあて、自らの輝きを大切にするような活動が広がって、本物のまちづくりへとつなげていただいているように感じています。今後とも行政は様々な基盤を整備し、その上に、広く市民が主役となり、民も官もみんなで力を合わせてまちの発展を創っていきたいと願っています。

新しい年を展望しますに、改めて原点を見つめ直して、温故創新の想いをともにさせていただきたい。というのも、丹後は、かつて古代丹後王国が栄えていた繁栄の原点を持っていますが、その原点から連綿と続く、人間の伝統がある、即ち、粘り強くよりよいものを求めて努力を重ねる、あきらめない姿勢、そんな人間の伝統をもっています。

松本重太郎さん、野村克也さんにしてもしかり、粘り強くよりよいものを求め続けた。いわずもがなに丹後の産業の質の高さ。織物業、機械金属業、観光業、農水産業も特 A 級であります。丹後の産業の素性或品柄の高さは、粘り強く努力を重ねる丹後の人々人の人間の伝統により支えられ、築かれています。

今、厳しい社会経済の状況にあるからこそ、改めて、そんな素晴らしい人間の伝統を見つめ直して、未来を開拓していく地域の魂としていきたい。

朝の来ない夜はない、と言われるように、必ずいつか一陽来復の朝は来ます。大切なことは、卯の刻、朝が来たときに、どれだけ高く長く遠くに雄飛することができるかは、今雌伏のときに、どれだけ努力を重ね、どれだけ深く屈み、どれだけの負担に抗って足腰を鍛えたか、によると思います。深くかがめばかがむほど、いざ跳ぶとなればうさぎのように高く跳び、辰のように天空に舞い上がることができると思うのです。今こそ、粘り強い努力をみなそれぞれに重ねたい。

新春、国家や国旗を拝する機会がたくさんありますが、国旗を拝して思いますに、我が国は、丸く大きな太陽をもって国の旗印とした、いわば太陽の輝きをととても大切にす
る、太陽の国であります。また、国歌も、細石が巖となる尊い歌詞を国の歌とした、発
展の思想を大切にもつ民族であります。

新春にあたり、国旗、国歌を仰ぎながら、京丹後において、太陽の輝きのような地域
の輝きを求めていきたいと思ひますし、細石のような努力を粘り強く積み重ねて大きな
努力の巖を積み重ね、人とまちの発展へと穿ち開いてまいりたいと願っています。

人はみな、きょうだい。人に喜びを与え、人の喜ぶ姿をみてともに喜ぶ。人の喜びを
自分の喜びとすることは、人の喜びが自分の中で自らの力に変化することに等しい。人
を支えて即ち自ら支えられる力を得、人を助けて即ち自ら助けられる力に変わり、人に
与えて即ち自分もありがとう。これが、支えあい、助けあい、与えあい、の本ではない
かと思ひます。

未来へと拓いていく人とまちの槌音の中に、支えあい、助けあい、与えあいの喜びや
「みなきょうだい」の絆や喜びが限りなく広がっていく、新春の日の出の輝きのような
まちづくりを、市民の皆さんとともに着実に進めていきたいと思ひます。

新しい年が市民の皆様にとりましてますます喜びの多い豊かな年でありますことを
心からお祈り申し上げまして、新春のごあいさつとさせていただきます。